資料2

情報公開文書：既存データによる研究参加に関するお知らせ

研究題目：肩関節インピンジメントのリスク因子となる上腕骨および肩甲骨形態の解明　-コンピュータシミュレーションによる三次元解析-

研究実施責任者：札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学第二講座
講師　　戸田 創

1　本研究の背景と目的

肩関節で生じる病態の多くは，上腕骨と肩甲骨間の距離が短縮し，筋腱や関節唇などの軟部組織が挟み込まれること肩関節インピンジメントにより発生します．この距離には，上腕骨および肩甲骨の形態が関与する可能性がありますが，十分に解明されていません．本研究では，肩関節インピンジメントに関連する上腕骨と肩甲骨間の距離と上腕骨・肩甲骨形態との関係を検討し，肩関節インピンジメントに関連する骨形態の特徴を明らかにすることを目的とします．本研究により，障害のリスク評価や予防プログラムの構築，運動療法の発展に貢献することが期待されます．

2　研究対象と方法

本研究では，北海道公立大学法人札幌医科大学で過去に実施された以下の 2 つの研究課題で 2025 年 12 月 31 日までに取得された CT 画像データを二次利用します．

①「肩関節疾患における肩甲骨全体形状の形態学的特徴の解明」
実施責任者：杉 憲
研究期間：2020 年 8 月 7 日～2025 年 3 月 31 日
倫理委員会：札幌医科大学附属病院臨床研究審査委員会にて承認済み
②「肩関節運動に及ぼす肩甲帯・脊柱形態の影響と特徴　～高精度三次元動態解析を用いた詳細評価～」
実施責任者：杉 憲
研究期間：2023 年 2 月 22 日～2030 年 3 月 31 日
倫理委員会：札幌医科大学倫理委員会にて承認済み

本研究では，これらの画像データから三次元骨モデルを構築し，コンピュータシミュレーションを用いて，上腕骨と肩甲骨間の距離および骨形態の特徴を解析します．
研究期間は，札幌医科大学学長の承認日以降から 2033 年 3 月 31 日までとします．

3　研究協力の任意性と撤回に関するご了承事項

上記の研究課題で取得された画像データは，すでに個人情報が復元できない状態で管理されており，研究者が個人を特定することはできません．そのため，本研究において協力いただいた特定の方のデータ使用を停止することが技術的に不可能であることをご理解いただければ幸いです．

資料2

４　研究計画書等の開示

本研究の研究計画書および研究方法の詳細に関しては，ご希望があれば開示いたします.

５　個人情報の管理

本研究で使用するデータはすべて個人情報が復元できない状態で管理されています．データは ID 番号で管理され，施錠可能な場所に保管されます．また，解析はネットワークに接続していないコンピュータで実施し，情報漏洩の防止に努めます．本研究で得られるすべての情報は，本研究の目的の範囲内でのみ利用し，研究実施者および分担者以外が取り扱うことはありません．研究結果の公表に際しては，個人が特定されることは一切ありません.

６　研究に関する試料・情報の保管および廃棄

研究終了後，研究結果および記録・情報等の保管場所および方法について札幌医科大学学長に報告します．実験で得られたすべての情報は，研究終了の報告後 10 年間保管します．保管期間終了後は，電子データについてはハードディスク内のデータを完全に消去した後，ハードディスクを物理的に破壊して破棄します．紙媒体についてはシュレッダー処理を行い，いずれも復元できない状態で破棄します.

７　研究成果の公表

本研究の成果は，個人情報が特定されない形で，学会発表や学術雑誌等に公表されることがあります.

８　費用負担に関する事項

本研究への参加による新たな費用負担はありません．また，謝礼の支払いもありません.

９　利益相反について

本研究に関連して開示すべき利益相反はありません.

＜研究実施責任者＞

データ利用に関する問い合わせ
札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学第二講座
講師（博士，理学療法士）：戸田 創
住所：〒060-8556　札幌市中央区南 1 条西 17 丁目
電話：011-611-2111（内線 29210）
E-mail：toda.h@sapmed.ac.jp（休日・時間外）